



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
 コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 克彦  
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	1,343	△7.2	52	△56.3	53	△55.9	35	△59.0
2019年6月期第3四半期	1,447	△8.3	119	5.1	120	4.2	86	△25.2

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 36百万円 (△59.6%) 2019年6月期第3四半期 90百万円 (△22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	2 42	— —
2019年6月期第3四半期	5 91	5 90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	3,722	3,304	87.5
2019年6月期	3,633	3,310	89.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 3,257百万円 2019年6月期 3,263百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00
2020年6月期	—	0 00	—		
2020年6月期(予想)				—	—

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年6月期の期末配当については、現時点では未定であります。

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

2020年6月期の業績予想につきましては、現時点では当社として合理的な算定・予想を行うことができないため記載しておりません。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期3Q	14,791,600株	2019年6月期	14,791,600株
2020年6月期3Q	151,500株	2019年6月期	158,900株
2020年6月期3Q	14,635,649株	2019年6月期3Q	14,629,814株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式 (2020年6月期3Q : 151,500株、2019年6月期 : 158,900株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題をはじめとする海外経済の不確実性等の懸念材料はあるものの、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、消費税率引き上げなどの影響を伴いつつも景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う国内外経済に与える影響が懸念されており、先行き不透明な状況が強まっております。

このような状況の中で、当社グループはIoT技術、AI技術を活用し、お客様の経営資源活用における最適化及び働き方改革の実現を目指し、次世代のカーソリューション、リストバンド型端末で働き方改革を支援するソリューション、生産性向上を後押しする工場設備リアルタイム監視システムをはじめ各種開発業務や製品展開に注力してまいりました。具体的にはテレマティクス車載機については後継機の開発が完了し、2019年9月より「Gazelle(ガゼル)」として出荷を開始しました。また2018年に販売を開始した働き方改革支援ツール「Next Work」を刷新し、安全衛生見守り支援サービス「Work Mate(ワークメイト)」として2019年9月に販売を開始しており、工場設備リアルタイム監視システム「D-COLLECT」と合わせて2019年9月に「第2回名古屋ロボデックス〜ロボット開発・活用展」に出展、2020年2月には会議室管理サービス「ROOM CONCIER」も加えて「第4回スマート工場EXPO展」に出展するなど、認知度の向上及び販路拡大に努めてまいりました。なお、「Work Mate」については、安全な職場環境構築についての有効性を検証するため、キリンビバレッジ株式会社の滋賀工場にて2019年9月から実証実験を行ったほか、国内工場からの新規受注も複数獲得しており、その他の製品と合わせて現在多数の引き合いを頂いております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,343百万円(前年同四半期比7.2%減少)、営業利益は52百万円(前年同四半期比56.3%減少)、経常利益は53百万円(前年同四半期比55.9%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35百万円(前年同四半期比59.0%減少)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### IoT事業

IoT事業は、カーシェア車載機の販売が増加したことに加え、テレマティクス車載機の受注も回復傾向にあることから、売上高は前年同四半期比で増収となりました。セグメント利益は、Work Mateを始めとする新製品の拡販活動の強化に伴い、販売費及び一般管理費が増加し、前年同四半期比で減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は570百万円(前年同四半期比26.6%増加)、セグメント利益は81百万円(前年同四半期比7.4%減少)となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、上期まで減少傾向が続いていた紙幣鑑別センサモジュールの販売に下げ止まりが見られましたが、通信アミューズメント機器について、前連結会計年度に一部供給製品の生産終了があったことが大きく影響し、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は392百万円(前年同四半期比32.9%減少)、セグメント利益は68百万円(前年同四半期比19.1%減少)となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、ダム制御システム関連の売上高は増加しましたが、医用分野における開発案件の規模縮小の影響をカバーするまでには至らず、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は380百万円(前年同四半期比7.8%減少)、セグメント利益は37百万円(前年同四半期比33.9%減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,722百万円となり、前連結会計年度末から89百万円増加しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が71百万円、製品が20百万円、原材料及び貯蔵品が21百万円増加し、現金及び預金が44百万円減少しております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は417百万円となり、前連結会計年度末から94百万円増加しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が83百万円、電子記録債務が21百万円増加しております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,304百万円となり、前連結会計年度末から5百万円減少しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円の計上、剰余金の配当44百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループといたしましては、主力製品であるATM向け紙幣鑑別センサモジュールと通信アミューズメント機器の販売が減少傾向にある一方で、IoTに係る新製品・新サービスの開発及び新規顧客の獲得を目的とした販促活動を進めながら、新たな収益基盤の確立・創出に積極的に取り組んでおります。

2020年6月期の業績予想については、売上構成比及び収益構造が大きく変わることが予想され、合理的に算定することが困難であったことから、未定としておりました。これに加え、第4四半期における新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響も不透明であり、依然として業績予想を合理的に算定することが困難な状況にあるため、現時点においても未定といたします。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスによる業績への影響は見られておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,818,281	2,773,996
受取手形及び売掛金	407,553	479,125
電子記録債権	28,105	16,582
製品	38,015	58,653
仕掛品	5,451	4,156
原材料及び貯蔵品	47,116	68,449
その他	21,906	23,284
貸倒引当金	△801	△729
流動資産合計	3,365,628	3,423,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,217	65,217
減価償却累計額	△18,916	△22,034
建物及び構築物(純額)	46,301	43,182
工具、器具及び備品	201,785	198,766
減価償却累計額	△167,793	△166,599
工具、器具及び備品(純額)	33,992	32,167
建設仮勘定	1,236	—
有形固定資産合計	81,529	75,350
無形固定資産		
その他	137,934	175,995
無形固定資産合計	137,934	175,995
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,277	7,227
その他	43,793	40,641
投資その他の資産合計	48,071	47,869
固定資産合計	267,535	299,214
資産合計	3,633,164	3,722,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,125	143,120
電子記録債務	115,628	136,806
未払金	16,357	18,913
未払法人税等	17,478	12,713
賞与引当金	2,032	7,249
製品保証引当金	3,272	—
その他	47,558	36,249
流動負債合計	261,452	355,052
固定負債		
株式給付引当金	39,870	42,059
退職給付に係る負債	21,741	20,691
固定負債合計	61,611	62,750
負債合計	323,064	417,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,473	941,473
資本剰余金	655,375	655,375
利益剰余金	1,722,986	1,714,026
自己株式	△55,868	△53,266
株主資本合計	3,263,967	3,257,609
新株予約権	14,876	14,876
非支配株主持分	31,255	32,446
純資産合計	3,310,099	3,304,932
負債純資産合計	3,633,164	3,722,735

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,447,895	1,343,220
売上原価	1,091,418	1,005,778
売上総利益	356,477	337,442
販売費及び一般管理費	237,051	285,225
営業利益	119,425	52,216
営業外収益		
受取利息	273	274
生命保険配当金	387	304
未払配当金除斥益	176	268
その他	77	56
営業外収益合計	915	903
営業外費用		
為替差損	27	60
株式交付費	5	—
その他	6	5
営業外費用合計	39	66
経常利益	120,302	53,053
特別利益		
受取保険金	1,549	77
特別利益合計	1,549	77
特別損失		
固定資産除却損	—	584
特別損失合計	—	584
税金等調整前四半期純利益	121,851	52,547
法人税、住民税及び事業税	24,809	18,890
法人税等調整額	8,970	△2,949
法人税等合計	33,780	15,941
四半期純利益	88,071	36,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,680	1,190
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,390	35,415



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	88,071	36,605
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,448	-
その他の包括利益合計	2,448	-
四半期包括利益	90,519	36,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,717	35,415
非支配株主に係る四半期包括利益	1,802	1,190

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	450,277	584,677	412,940	1,447,895	—	1,447,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	450,277	584,677	412,940	1,447,895	—	1,447,895
セグメント利益	87,779	84,339	57,399	229,518	△110,092	119,425

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,092千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,092千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	570,188	392,373	380,659	1,343,220	—	1,343,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	570,188	392,373	380,659	1,343,220	—	1,343,220
セグメント利益	81,284	68,266	37,918	187,468	△135,251	52,216

(注) 1. セグメント利益の調整額△135,251千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,251千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。